

近畿地方整備局 入札監視委員会（第二部会） 令和元年度第3回審議概要

開催日及び場所	令和元年12月6日（金） 神戸地方合同庁舎 1階 第4共用会議室	
委員	芥川真一（神戸大学大学院工学研究科教授 第二部会長） 泷 圭吾（神戸大学大学院法学研究科教授） 米田和史（米田会計事務所 公認会計士・税理士 今回抽出担当者） （五十音順）	
審議対象期間	令和元年7月1日 ～ 令和元年9月30日	
報告事項	①発注状況報告 ②指名停止措置の運用状況報告 ③談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告 ④再度入札における一位不動状況報告 ⑤低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告 ⑥一者応札の発生状況報告 ⑦不調・不落の発生状況報告 ⑧高落札率の発生状況報告	（備考） ・①～⑧について、整備局資料に基づき説明を行った。
審議事項 抽出案件	総件数 6件	（備考） [抽出件名]
＜工事＞ 一般競争入札方式 （政府調達協定対象）	1件	・神戸港ポートアイランド（第2期）地区岸壁（-16m）等耐震改良工事
一般競争入札方式 （政府調達協定対象外）	1件	・尼崎西宮芦屋港尼崎地区航路泊地（-12m）浚渫工事
＜業務＞ 簡易公募型競争入札方式	1件	・舞鶴港和田地区道路（上安久線）環境予測業務
簡易公募型プロポーザル方式	1件	・大阪港海上工事に伴う航行安全対策検討業務
簡易公募型競争入札方式	1件	・和歌山下津港海岸（海南地区）土質調査（第2工区）
＜物品役務＞ 一般競争入札方式	1件	・船舶（港湾業務艇）「きのかぜ」修理

	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p><b>【報告事項】</b></p> <p>①発注状況報告</p> <p>②指名停止措置の運用状況報告</p> <p>③談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告</p> <p>④再度入札における一位不調状況報告</p> <p>⑤低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告</p> <p>⑥一者応札の発生状況報告</p> <p>⑦不調・不落の発生状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不調のあった工事の発注金額はどれくらいでしょうか。</li> <li>・再発注時にも同様の規模で発注したのでしょうか。</li> </ul> <p>⑧高落札率の発生状況報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約3,000万円です。</li> <li>・発注金額は同じ規模ですが、発注等級を拡大したところ参加可能業者が増え、結果的に新たな入札参加者が落札しました。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p><b>【審議事項】</b></p> <p>1. 一般競争入札方式（政府調達協定対象） 「神戸港ポートアイランド（第2期）地区岸壁（-16m）等耐震改良工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A社の技術提案の評価点が低い理由を教えてください。</li> <li>・A社の入札価格が、予定価格に対して大きく超過している理由はあるのでしょうか。</li> <li>・JVを組んでいる企業がありますが、その組み合わせは他の工事に参加する際もいつも同じなのでしょうか。</li> <li>・発注する工事によって、ベストな組み合わせを行っているということでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案内容に地元調整を必要とするものがあり実施可能か不明であったこと、また、騒音対策に関して、その効果が不明であったこと等から、評価しないこととなりました。</li> <li>・想像になりますが、積算の段階で担当者の勘違い等があったのではないかと想定されます。</li> <li>・工事によって違います。</li> <li>・その通りと考えられます。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p><b>2. 一般競争入札方式</b>  <b>「尼崎西宮芦屋港尼崎地区航路泊地（-12m）浚渫工事」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A社、B社の会社名が似ているのは関連企業なのでしょうか。</li> <li>・ この場所に土砂が堆積する理由を教えてください。</li> <li>・ 土砂が堆積しているという調査は、別途本工事より前に行われているのでしょうか。</li> <li>・ 工事完成後の海底の平坦度などはどのように確認されているのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連企業ではありません。競争参加資格確認時に入札参加者間に関連企業がないことを確認しています。</li> <li>・ 本事業は、航路泊地を水深12mとするため、その水深が確保されていない箇所を順次浚渫しているものであり、今回の施工区域が最後の予定となっています。海底の土砂は、非常に柔らかいため潮汐等により移動し、溜まりやすい箇所に堆積したものと考えられます。</li> <li>・ その通りです。工事に先立ち調査を行い、その結果を基に施工範囲等も決定しております。</li> <li>・ 施工後の測量調査により水深の確認を行っております。また、当該海域は船舶の航行もあるため、航行安全を管轄している海上保安庁にも確認を得ています。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p><b>3. 簡易公募型競争入札方式</b>  <b>「舞鶴港和田地区道路(上安久線)環境予測業務」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本業務は、国のガイドライン等に基づき実施しているのでしょうか。業務を実施している根拠を教えてください。</li> <li>・ 環境への影響がありそうな事業については、このような業務を実施しているということでしょうか。</li> <li>・ 落札者の技術提案書の評価結果が高い理由について教えてください。</li> <li>・ 日本海側の地域では、季節的な要因によって、騒音や大気質などの環境予測の結果に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイドライン等に基づくものではなく、事業説明時に地元住民から、環境への影響について説明を求められることが想定されたため、調査を実施したものです。</li> <li>・ その通りです。</li> <li>・ 落札者については、実施方針や工程計画等の評価において、重要事項の指摘とその対応についてが特に良かったものです。また、全体的に非常に具体的で良い提案であり、高い評価となっています。</li> <li>・ 季節によって環境予測結果に違いが生じるような項目もあるのではないかと考えられます。</li> </ul>

違いは生じるものでしょうか。

意見・質問	回答
<p><b>4. 簡易公募型プロポーザル方式</b> 「大阪港海上工事に伴う航行安全対策検討業務」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本業務について、自ら業務を実施せずに業務発注している理由について教えてください。</li><li>・今回新たに安全対策が必要になったことという事は、何か新たな事業を実施しているということでしょうか。</li><li>・参加者が1者であった理由を教えてください。</li><li>・簡易公募型プロポーザル方式について、全体的に、契約業者に公益法人が多い理由や1者申請が多い点はなぜでしょうか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・本業務については、海運業界の関係者が多数関与している点から、直接当局で行うことは相当な労力が必要であると考えています。そのため、業務発注を行い、様々な経験やノウハウなどを有している業者と契約することにより、より効率的に業務を実施出来ると考えております。</li><li>・事業の実施にポンプ浚渫船を新たに導入するという点です。大阪港の船舶が非常に輻輳する海域で本船を導入するにあたり、海難事故の防止のため、しっかりした安全対策が必要であると考えています。</li><li>・本業務については、資料のダウンロード者は15者おり、後日、対象業者にヒアリングを行ったところ、技術者や経験が不足している等から参加を見送ったとの回答を得ております。結果的に1者の参加となったということであり、参加可能業者が複数者いることを確認の上公募しております。</li><li>・簡易公募型プロポーザル方式については、高度な技術や専門的な知見が必要であり、公益法人等は特に技術や経験があるのではと考えられます。当局としては、より多くの参加者を得たいと考えていますので、仕様書の内容や参加要件の緩和等について、今後更なる検討を重ねて参ります。</li></ul>

意見・質問	回答
<p><b>5. 簡易公募型競争入札方式</b> 「和歌山下津港海岸(海南地区)土質調査(第2工区)」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・A社の入札価格が非常に高いのはなぜでしょうか。</li><li>・業務内容にある標準貫入試験は、水中部での作業なのでしょうか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・あくまで推測ですが、何らかの事情により受注意欲が減少したのではないかと想定されます。</li><li>・そうです。水中部で地盤の強度を調べる試験です。</li></ul>

意見・質問	回答
<p><b>6. 一般競争入札方式</b>  <b>「船舶(港湾業務艇)「きのかぜ」修理」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札が2回行われていますが、同じ日に行うのか、実際の流れを教えてください。</li> <li>・もし2回目の入札で終わらなかった場合は、3回目以降も続けるのでしょうか。</li> <li>・船舶を実際に確認した際に、想定よりも劣化が激しかった場合は、どのように対応されるのでしょうか。</li> <li>・一般競争入札で、結果的に1者入札となっておりますが、参加可能者数はどれくらいなのでしょうか。</li> <li>・港湾業務艇は1隻だけなのでしょうか。他の港湾にもあるのでしょうか。</li> <li>・修理中に業務艇が必要となった場合、どのように対応しているのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本件は紙入札で行ったものであり、1回目の入札では予定価格を超過したため、その場でお伝えし、2回目の入札で落札となりました。</li> <li>・入札は原則2回までとしており、2回目の入札でも金額がかけ離れている場合は、再公告を行うこととなります。</li> <li>・その場合は、劣化の内容を確認したうえで、必要であれば、業者と協議し、変更契約をすることとなります。</li> <li>・発注標準等級がC等級であるが、B等級及びD等級まで拡大し、実績や修理施設の要件を最大限緩和しているが1者となっている。他に業者がいることは把握しているが、なかなか入札に参加してもらえない状況です。</li> <li>・各港湾事務所で1隻ずつ所有しています。</li> <li>・修理期間中は、一時的に民間企業から船舶の賃貸借契約を行っております。</li> </ul>

意見・質問	回答
<p><b>7. 全体を通して</b></p>	<p>特になし</p>